

# 国際

# こだいら



2010年  
No.60

*Kodaira International Friendship Association News*

小平市国際交流協会の機関紙です。  
ご自由にお取りください。



ひな祭りの集い 2月27日(土)



**Join us!**

<http://www.kifa-tokyo.jp/>

興味を持たれた方はお気軽に  
ご連絡下さい。お待ちしております。

# 新年交流会

1月16日(土)午後6時から7時半まで、毎年恒例の“新年交流会”が、学園西町地域センター集会室で開かれました。前年度の会場、ルネこだいらからKIFA本部へと会場を移してのパーティーはどんなものか?と興味津々、中に入るとあの地味な部屋が、いけ花や、タペストリーの様なきれいな着物に彩られ、ホテルの会場の様です。副理事長の「Have a good day, have a good time!」と、英語を交えた挨拶で始まり、乾杯の後は料理と飲み物で、しばしの歓談。お腹も満たされ、ホロ酔い気分になってきた頃、留学生達の着物インタビュー。女性9人におや珍しい!男性も1人。「着物を着て食事するとダイエットになります。」「KIFAのおかげできれいな着物が着られて嬉しい。」「短い!!」等、上手な日本語で様々

な感想を聞かせてくれました。長身のスウェーデンの男性には丈が20cm程足りない様でしたネ。それから、今年の日目イベントは「小平トリビア & 世界のお正月クイズ」と「利きビール」。オランダでは、ドーナツを年末に食べる事や、イタリアでは、新年に女性に赤い下着を贈る事など、新豆知識をGETできました「利きビール」では、酒豪の面々が競いあっている様でしたが、記者もホロ酔いにつき、結果がわからないという始末です。とほほ。今年の新年交流会は規模が小さかったものの、アットホームな“温もり”のある交流会の場になったと思います。大成功なパーティーでした。



## KIFA写真館

2009年11月～2010年2月

イギリスよもやま話  
11月14日(土)



都内バスツアー  
2月21日(日)



鎌倉バスツアー  
11月29日(日)

こだいら市民駅伝  
2月7日(日)

### 平成22年度は

### 次のような事業を行います

#### I 国際理解及び国際親善の普及事業

国際こどもクラブ (2期2クラス)、日本語会話教室、英会話教室 (レベル別クラス、シニア英会話)、外国語会話教室、国際交流芸術展

#### II 地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、ホームビジット、バスハイク、ひな祭り等

#### III 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介、外国人のための茶道入門

#### IV 国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙 (年3回)・情報紙 (年10回) の発行、情報提供コーナーの運営、電子情報の発信

#### V その他協会目的達成のために必要な事業

ボランティア活動の推進、新年交流会、協会PR活動等の推進、協会設立20周年記念事業

### 平成22年度収支予算 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

○収入の部		(単位:千円)
科目	予算額	
賛助会費収入	1,402	
補助金収入 (市補助金等)	14,134	
寄附金収入	1	
積立金繰入	2,200	
事業収入	6,698	
雑収入 (預金利子等)	6	
前年度繰越金	1,137	
収入合計	25,578	
○支出の部		
科目	予算額	
事業費	10,768	
国際理解及び国際親善の普及事業	5,586	
地域における友好交流事業	1,149	
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	387	
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	1,962	
その他協会目的達成事業	1,684	
管理費 (管理運営費)	14,409	
積立金	1	
予備費	400	
支出合計	25,578	

# インタビュー インドネシア

ディラ・サスリ・インドラ (DILAH SASRI INDRA) さんは、ジャカルタ出身 22 歳。現在、多摩美術大学でテキスタイルデザインを勉強する学生です。12 月に開催された「こだいら国際交流芸術展」にも出展しました。

◎なぜ日本の大学で勉強しようと思ったのですか？

小さい頃からアートに興味があり、インドネシアでもパティック (インドネシアの染物) 等の勉強をしていましたが、世界を見てみたくて海外留学を決めました。実は、留学先として東京とロンドンとで迷っていたのですが、日本のファッションを見て、最先端の流行の中にも古くからの伝統が共存していると感じ興味を持ちました。ただ古いものを壊して新しいものを作り上げていくとは違う日本の文化に惹かれたのです。

◎日本語がとても上手ですが、留学前から日本語の勉強をしていたのですか？

インドネシアでは日本の小学 3 年生に当たる年齢から学校で英語を勉強しますので、初めて日本に来た時、英語は出来ましたが、日本語は全く理解できませんでした。そこで日本の美術大学に入学するため、来日 1 年目は、月曜から金曜日は日本語学校に通い、土日は美大に入るための予備校に通いました。夏休みには北海道でホームステイして日本語を覚えたんですよ。

◎北海道は東京とまた違った感じで楽しかったでしょ？他に日本のどこへ行きましたか？

旅行が大好きなので、休みになるとあちこちで出かけます。京都は東京とは違って日本の伝統的な文化が興味深かったです。でも一番印象的だったのは沖縄です。故郷のインドネシアに似ているところが多くて、あらゆるものの色彩が鮮やかでした。紅型 (沖縄の染物) に今とても興味があります。だからまた是非行きたいと思っています。

◎やはりどこへ行っても、その土地の文化や色彩が気になるんですね。

はい。今は慣れましたが、東京に来て間もない頃、駅で周りを見渡すとほとんどの人が黒、グレーの暗い色を着ていて、これからここで何かイベントでもあるのかとびっくりしたことがあります (笑)。

◎4 月からは大学 4 年生ですね。卒業後のことは決めていますか？

就職することも考えますが、まだまだ自分には学ぶことが必要だと思っています。色々な国でその国の芸術を勉強したいんです。次はイタリアでテキスタイルを勉強しようかなあと思っています。

モデルのようなスレンダーな身体に大きな瞳をキラキラ輝かせて話すサスリさん。かわいらしい雰囲気とは対照的に、目標に向かってあらゆる努力を惜しまない姿勢は力強さを感じます。きっと将来は世界を股にかけて活躍してくれるでしょう。Keep going, SASRI !!



## てん刻入門

篆刻入門の教室におじゃましました。篆刻とは篆書を用いて石に印を彫ること。講師は上海戯劇学院客員教授の背のスラリと高い朱海慶先生。生徒さんたちはさすが篆刻に興味をお持ちなだけあって、書・水彩画・ちぎり絵などをされていて、その落款を作るために参加されている方が多いようでした。今日は全 7 回



コースの 5 回目とあって、みなさん既に 3~4 個の印を制作されていて、自分の名前を印にするために、篆書を調べていくつかのデザインプランを用意して授業に臨むという熱心ぶり！

先生は生徒さんひとりひとりを回って懇切丁寧にマンツーマンで教えてくださいます。名前を篆書で書いてもらったり、自分で考えてきた書体を手直ししてもらったり、彫り方を教えていただいたり…などなど。「いい感じだねえ〜」「い

い線だねえ〜」などと先生の声が教室に響き、とても和やかな空気です。

みんなが作業に入り熱中してシーンとしている中、教室の片隅で「あっ！」という声！…そして、教室全体に笑いの波…きつと彫ってはいけない部分を削ってしまったのでしょうか。

生徒さんは老若男女さまざま。中には日本の文化に興味を持って篆刻を習いに来たドイツ人学生の姿も。彼は自分の名前ツィーゼマンを先生に篆書にしてもらって、ほんの 1 時間くらいで立派な印を彫り上げていました！

篆刻という未知の分野をのぞいて見たら、石の印という数センチ四方の小さな世界の中に、篆書文字やそのデザイン・石を彫る技術や道具の使い方・石の材質など非常に奥深いものがあることを知ることができました。そしてなによりも、先生と生徒さんたちの熱く静かに燃える情熱に驚かされた 2 時間でありました。

部 首	字 例		
雨	雲	雷	靈
雨 (雨)	✓ 云 (雲)	✓ 雷	✓ 灵 (靈)
頁	鮮	鱗	鯉
頁 (魚)	✓ 鮮 (鮮)	✓ 鱗 (鱗)	✓ 鯉 (鯉)

## こだいら国際交流美術展

12月8日から13日まで、「こだいら国際交流芸術展」がルネこだいらで開催されました。

今回で15回をむかえる展覧会には13ヶ国26名の方々の作品が展示されました。また、絵画、書芸、陶芸、デザイン、工芸品、写真など、色々な分野の芸術作品が並び、国籍、作品ともにバラエティ豊かな展覧会となりました。出展された方々のそれぞれの故郷に思いを馳せながら作品を拝見すると、さながら世界一周旅行に行った気分になります。

最終日には和やかな雰囲気の中、出展者の方々と交流会が開かれました。多くの方に集まっていただき、国籍は違っても同じ芸術を愛する者同士、国際交流の輪が広がっていました。芸術に国境はないことを改めて知らされる展覧会となりました。



## ひな祭りの集い 2/27(土)

春の訪れを感じさせる暖かい日、KIFAにて、ひな祭りの集いが開催され、外国人を含む約90人の方の来場がありました。

小林市長ご挨拶の後、総勢9名の外国人の着物姿が披露され、木目込み人形やひな人形で飾り付けられていた会場がより一段と華やいだものとなりました。中国からの留学生、張瑞さん。来日8年目でKIFAのひな祭りには初参加、ご主人と揃って着物をきていらっしゃる姿はまさにお内裏様とお雛様、また、アメリカからの留学生で双子の姉妹、メーガンさんとタラさん。姉のメーガンさんは着物を着た経験が何度かあり、アップされた髪に映えるかんざしもお手製。かなり日本文化への造詣が深い模様です。



韓国からの留学生、パクさんにカクさんも初めての体験とのことで、雛飾りをバックに写真撮影をされていました。皆さん様に、着物を着られる機会があり嬉しい、ただ立ち上がるのが難しいですね、と言われ、新しい発見でした。

着付けボランティアの方のお話では、着物も着る人のチョイスによるもので、外国人だからと言って着付けに手間取るという事も無かったそうですが、外国の方ゆえ、足のサイズが少し大きかったのか、足袋のサイズが合わず、やむを得ず足袋をテープ止めしている男性がいて、皆の笑いをとっていました。舞台では琴も演奏され、その後は即席の琴体験コーナーとなり、演奏者の方々と外国人の方の交流の場となりました。

同時に、会場後方では折り紙コーナーもあり、こちらも盛況でした。意外にも男性の方が折り紙に興味をもっているようです。また、日本舞踊の際には、早くもリズムをとりだす方の姿もあり、後に続く花笠音頭では着物を着た方も目一杯踊っていました。

短い時間でしたが楽しい時間を過ごす事ができ、外国の方にとっては日本の伝統行事を体験するいい機会であり、よき思い出となったのではないのでしょうか。

## 留学生と市民のもちつき交流パーティー

1/23(土)



小平国際学生舎留学生寮との共催で、一橋大学小平キャンパス中庭にて餅つきが行われました。天気も良く、大勢の市民と外国人が集まりました。

ベテランボランティアのサポートのもとで、餅つきの始まり。若者や外国人のほとんどは未経験者なので、最初は2人で交互に杵を打ち下ろすタイミングがわからず、手が止まったりめったやたらとついてしまったり。「それ、よいしょ!よいしょ!」の掛け声に合わせてだんだんうまくつかるようになっていきます。それでも重い杵にたまにヨロヨロ。でも中には「韓国でもよくやっていたからね。」と力強く杵を振り下ろす女性もいて、見物していて感心したり。最後には、私もつきたい!僕も、私も!と大盛況でした。

つきたての餅は、あんこ、きなこ、大根おろしにからめいただきます。意外なことにアジア圏外の方々もおいしそうにパクパク。おかわりしている人も!「モチもアンコも大好きなの。」とスペイン女性。中国の方からは「よいしょって言うのが面白いです。どんな意味ですか?」と聞かれたり。「日本では家でもよく餅をつきますか?」という質問には、ちょっと悲しい「いいえ。」の返事をしました。みんなが一緒になって楽しめたこの催しは、沢山の人生経験豊かなボランティアの方々に支えられています。こんな素敵な日本の伝統を私達若いモンも次の世代に受け継いでいかなければ、と強く感じた一日でもありました。

### 編集後記

記事を書いている時、ちょうどバンクーバーオリンピックに胸を熱くしていました。4年前に年齢で出場できなかった真央ちゃんが今回は銀メダル!4年後にはどんな姿が見られるか楽しみです。さて、私の4年後は??ウー、健康体力キープにがんばりま〜す!(M.A)

発行日 平成22年4月1日  
発行 小平市国際交流協会  
編集 機関紙グループ  
〒187-0045 小平市学園西町2-12-22  
学園西町地域センター3階  
☎042-342-4488 / FAX. 042-347-3003

